

令和3年 第2回 市議会定例会

市長所信表明(要旨)

蕪崎市

本日ここに、令和3年第2回市議会定例会の開会にあたり、提出いたしました案件のうち、主なるものにつきまして、その概要を申し上げ、併せて、私の所信の一端を申し述べ、議員各位、並びに市民の皆様のご理解とご協力をお願い申し上げます。

新型コロナウイルス感染症対策の「切り札」と期待されているワクチン接種につきましては、65歳以上の高齢者9,301人を対象に、先月10日から個別接種を、16日からは集団接種を開始し、先月末までに1回目の接種を終えた方が3,448人、2回目を終えた方が143人であり、来月末には終了する予定であります。

ワクチン接種を行うにあたっては、蕪崎市医師会の皆様をはじめ、看護師、薬剤師等の多くの方々から絶大なるご協力を賜り、心より感謝申し上げます。

また、先月末までに、5,777人の方が1回目の予約を済ませたところでありますが、予約受付に関しましては、ワクチンの供給量と一日に接種できる人数に限りがあるため、電話が殺到し、コールセンターに繋がりにくいことから、庁舎内に電話相談窓口を設置し、説明や案内を行うとともに、市ホームページのほか、防災行政無線等で予約状況をリアルタイムにお知らせするなど、全庁体制で対応しているところであります。

市民の皆様には、ご心配とご不便をお掛けしておりますが、今後も安全かつ円滑に接種できますよう全力で取り組み、感染防止対策の強化に努めてまいります。

過日、政府は、東京や大阪など9都道府県の緊急事態宣言及び、埼玉など5県のまん延防止等重点措置について、期限を延長いたしました。

本市におきましては、新規感染者が低い水準にありますが、県内では、憂慮すべき状況が続き、変異株による感染リスクも高まっておりますので、改めて、正しいマスクの着用、手洗いや消毒、こまめな換気と3密を避ける行動を徹底していただきますようお願い申し上げます。

なお、これまでも議員各位のご協力のもと、様々な支援策を積極的に展開してまいりましたが、先般、国による低所得の子育て世帯給付金の速やかな支給をはじめ、生理用品の無料配布、感染拡大地域への通勤通学者に対するPCR検査費用の助成をいたしました。

また、観光バス・タクシー業界の支援を踏まえ、ワクチン接種に係る無料送迎バス等の運行を行っているところであります。

さらに、マイナンバーカード取得者の増加により、チームにらききエール商品券第2弾を当初の3万冊、3億9千万円から3万5千冊の4億5千5百万円に発行額を大幅に拡大するとともに、コロナ禍で負担が増している家計を支援するため、生活困窮世帯に、一人あたり5千円の商品券を配布し、引き続き、地域経済対策を推進してまいります。

次に、本年度の主な事業の動向と新たな取り組みについて申し上げます。

始めに、スポーツ施設の整備についてであります。

市営総合運動場整備事業につきましては、建設場所と全体スケジュールの変更を主な内容とする基本計画について、パブリックコメントを終了し、改訂版を策定いたしました。

新体育館建設に関しましては、葦崎中央公園周辺の2ヶ所を候補地として調査し、土地所有者への概要説明を行ったところでありますが、土地利用やアクセスの合理性等を考慮した結果、市有地を核とした公園南側周辺地を建設予定地として決定いたしました。

今後は、改定後のスケジュールに従い、事業の推進を図ってまいります。

次に、スポーツ活動の充実についてであります。

東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会につきましては、県内の聖火リレーが、今月26日から27日にかけて実施され、市内では、26日夕方、一ツ谷交差点から下宿交差点までの区間において、8名のランナーが聖火を繋ぎます。

また、8月1日には、文田健一郎選手が「レスリング グレコローマン60kg級」に出場いたしますので、東京エレクトロン葦崎文化ホールにおいてパブリックビューイングを開催し、金メダル獲得に向け、市を挙げて応援してまいります。

観覧いただく市民の皆様のお安全安心を第一に、感染症対策に万全を期しながら実施する予定です。

次に、国際交流の推進についてであります。

先般、駐日チェコ共和国大使館より東京パラリンピック選手の事前合宿について要請があり、これまでの交流とスポーツ並びに共生社会の進展を考慮して自転車競技選手1名を受入れることといたしました。

競技終了後には、市内への訪問を予定しており、今後のチェコ共和国との交流に活かしてまいりたいと考えております。

なお、フェアフィールド市からの姉妹都市高校生ホームステイ事業につきましては、新型コロナウイルス感染症の影響を踏まえ、中止といたしました。

次に、防災体制の強化についてであります。

秋の防災週間に年1回実施しております総合防災訓練につきましては、本年度から年2回行うこととし、今月20日に大型台風による水害を想定した訓練を実施いたします。

当日は、市民の避難行動の確認や、各避難所と災害対策本部を、新たに導入したオンライン設備で結び、新型コロナウイルス感染症対策も踏まえた内容とし、災害発生時の円滑かつ迅速な対応につなげてまいります。

次に、子育て環境の整備についてであります。

葦崎東保育園の民営化につきましては、事業者の公募を行い、選定委員会による審査を経て、先月、「社会福祉法人ゆうゆう」と民間移管に関する協定を締結したところであります。

今後は、事業者とともに、新園舎の開設に向けた具体的なスケジュール等について、関係者と協議を進めてまいります。

次に、学校教育の充実についてであります。

本市におきましては、平成27年度から3年間、県の「外国語教育強化地域拠点事業」のモデル指定を受け、県内でも先駆的に取り組んでおりますが、この度、英語専科教員とALTの配置拠点校であります葦崎小学校が、県の「英語教育改善プラン推進事業」の研究校に指定されました。

今後2年間の取組みと成果を市内全校に波及させ、小・中学校を通じて、グローバル社会に生きる児童生徒に求められる英語発信力の向上と教員の指導力強化に努めてまいります。

次に、魅力ある観光施策の充実についてであります。

4月から市民有志のご協力をいただき、市の玄関口である葦崎駅構内に「にらさき情報掲示板」を設置いたしました。

観光や市民団体等の活動内容をPRするほか、美術作品の展示など、地域の魅力を発信する場として活用してまいります。

次に、企業誘致の促進についてであります。

東京エレクトロンテクノロジーソリューションズ株式会社からの要請に基づき、進めております、穂坂地区工業団地造成事業につきましては、過日、測量設計会社を決定するとともに、土地所有者を対象とした説明会を開催いたしました。

今後も関係機関等のご協力をいただくなかで、早期完成に向けて全面的に支援してまいります。

次に、マイナンバーカードの普及促進についてであります。

申請者の負担を軽減するため、先月、庁舎内に申請を補助する受付窓口と株式会社山梨フジカラーのご協力をいただき、証明写真撮影機を設置いたしました。

また、来月には、ニコリにもサポート窓口を開設する予定であります。

次に、市民等との協働の推進についてであります。

地域が抱える課題を解決するため、市民自らが行う取組みを支援する、まちづくり活動補助金につきましては、既に予想を上回るご提案をいただきました。

改めてまちづくりに対する意識の高さを感じたところであり、各団体の活動に大いに期待しております。

次に、行政のデジタル化の推進についてであります。

DX（デジタル・トランスフォーメーション）の一環として、市民サービスの充実に向け、証明書等交付手数料や上下水道の使用料などについて、キャッシュレス化を進めることといたします。

引き続き、若手職員を中心としたプロジェクトチームにおいて、行政手続き等の利便性向上と業務の効率化を推進してまいります。

次に、本日提出いたしました審議案件につきましては、条例等の改正のほか、予算につきましても補正の必要が生じたので対処いたしましたところであります。

これにより、今議会でご審議をお願いする案件は、

報告案件	9件、
予算案件	4件、
条例案件	4件、
その他案件	1件であります。

まず、令和2年度予算の専決事項についてであります。

3月補正予算編成後において、地方譲与税及び特別交付税等の交付額確定、また、各種事業費の確定により、4,345万7千円の増額補正の必要が生じたので、一般会計補正予算第8号を専決処分したところであります。

次に、令和3年度予算の専決事項であります。

令和3年度の当初予算編成後において、新型コロナウイルス感染症が長期化するなか、低所得の子育て世帯への生活支援を目的とした国の臨時給付金を支給するため、3,287万6千円の増額補正の必要が生じたので、一般会計補正予算第1号を専決し、対処いたしましたところであります。

次に、令和3年度一般会計補正予算についてその概要を申し上げます。

今回の補正は、新型コロナウイルスワクチン接種事業費など、緊急性を生じた事業を中心に編成したところであります。

まず、総務費であります。

穴山町の旧なごみの郷を指定福祉避難所として活用するための維持管理経費を252万1千円、市民生活課窓口で発行する証明書等手数料のキャッシュレス化の経費や、マイナンバーカードの交付に係る申請補助窓口開設等の経費として416万円を追加計上するなど、総額792万3千円を増額補正しております。

次に、民生費であります。

新型コロナウイルス感染症の長期化を踏まえ、生活困窮者の日常生活を支援するため、生活応援商品券事業費2,656万3千円を追加計上するなど、総額2,770万7千円を増額補正しております。

次に、衛生費であります。

新型コロナウイルスワクチンの接種体制の確保に係る経費を8,776万円追加計上するなど、総額8,961万8千円を増額補正しております。

次に、農林水産業費であります。

穂坂双葉畑かん土地改良区の耕作地の環境整備を図るため、小土地改良事業費に963万円を増額するなど、総額1,038万円を増額補正しております。

次に、商工費であります。

チームにらさきエール商品券の販売冊数を増刷し、市民の生活支援策の拡充と地域経済を支えるため、1,555万6千円を追加するとともに、山梨県が認証するグリーンゾーン認証制度の認定を受けた事業者に対する応援金に320万円を追加計上するなど、総額1,931万5千円を増額補正しております。

次に、消防費であります。

コミュニティ助成事業等の採択により、消防団の資機材購入経費として、138万1千円、増額するなど、総額189万8千円を増額補正しております。

次に、教育費であります。

韭崎小学校で実施する県の英語教育改善プラン推進事業の経費として10万円、コミュニティ助成事業の採択により、各地区公民館で利用する備品の購入費など、総額215万7千円を増額補正しております。

以上の結果、一般会計補正予算額は、1億5,899万8千円を増額補正となり、現計予算額は、142億4,687万4千円となります。

次に、介護保険特別会計につきましては、介護保険制度の改正によるシステム改修費を228万8千円追加計上し、青木御座石財産区特別会計につきましては、立木伐採、植栽などの経費、基金積立金の増など、総額805万6千円を増額補正しております。

水道事業会計につきましては、水道料金等のキャッシュレス化を推進するため、システム構築費、端末購入費などを追加計上し、総額222万9千円を増額補正しております。

その他の案件につきましては、いずれもその末尾に提案理由を付記してありますので、よろしくご審議のうえ、ご議決あらんことをお願い申し上げ、私の所信といたします。

令和3年6月3日

韭崎市長 内藤 久夫